

起因物、事故の型：人力運搬機 - 激突の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	16~17	重さ10kgのエンボステープが大量に入り倉庫に片付けようとパレットに乗せて、いっぱいになったので板台車に乗せて運ぼうと、エンボステープを持って後に下がった時に足元にあたりフターに左足が引っ掛かり、左膝が一瞬外れたように内側に曲がり、後ろに転倒し、膝部分が腫れて動けなくなった。	51	11402	100~299
1	8~9	営業所構内にてロールボックス整理中、貧血でふらついて、ボックスに足を引っ掛け倒れてしまい、その際にボックスの角で顎を打ち、3針縫合した。	24	40301	50~99
1	15~16	集配中、台車集配コンテナの角と胸部を打ちつけ、右胸部肋骨1本を骨折した。	64	170101	300~499
1	15~16	集配中、台車集配コンテナから荷物を取り出す際、集配コンテナの角と胸部を打ちつけ、右胸部肋骨1本を骨折した。	64	40301	50~99
2	9~10	敷地内において荷卸しの作業中、傾斜面に停車した印刷物専用車輛車庫内からジョルダーを使用し製品を外へ出す際かけていた棒のピンが外れ身体が後ろへ大きく転びその際、後頭部をかばった為、肩の左側、首、肘を強く打ち負傷したものである。	53	40301	10~29
2	12~13	荷卸し中、荷台に入れた台車に荷物を積み上げ、その台車を引き出す際、ホームと荷台に段差があるため台車に勢いがつき、台車を支えながら下がったところ、後にあった空台車に左足踵付近を強打したものである。	55	40309	50~99

2	7~8	幹線道路側道花壇へ、清掃場所移動中、自転車にて接触し左足を負傷した。	68	150101	100 ~ 299
3	15~16	洗浄室にてカート洗浄中、洗浄水ストッパーを閉止しようとしたとき、カート洗浄台スロープに左足を乗せたところ滑り、洗浄中のカートに左肩を強打し受傷した。	64	10109	100 ~ 299
3	15~16	洗浄室にてカート洗浄中に、洗浄水ストッパーを閉止しようとしたとき、カート洗浄台スロープに左足を乗せたところ、洗浄中のカートに左肩を強打し受傷した。	64	170101	50~ 99
3	2~3	派遣先事業場でチーズの入ったトレーを10段積み、台車で運搬する際にケースのバランスが前方向に崩れそうになったため、ケースを支えようとして右手を打ちつけてしまい、小指の上部に被災した。	42	170101	30~ 49
3	12~13	第七工場1階計量室からゴミを両手で抱えてオープンスペース側に移動していた。計量室出入口付近にあった台車に視界不良のためつまずき、台車の持ち手部分に右胸部を打ちつけ、肋骨に亀裂骨折を負った。	42	10109	100 ~ 299
3	15~16	通路に機材が置いてあり、台車を押しながら通過中、機械に気が付かず左手甲を機械にぶつけてしまった。	48	10104	500 ~ 999
3	8~9	お客様の会計後、鉄筋（4m、40本）を積み込みするため鉄筋売場からお客様車両まで鉄筋台車を4人で移動させる際、重量があるため踏ん張って押した時に右膝を捻り、反動で膝を鉄筋台車の角へ打ち当てた。	53	80209	50~ 99
3	9~10	店内で作業中、お客様がレジに並ぼうとしたため、レジに向かって小走りで移動した。その際、レジ設置場所の脇に止めておいた台車のブレーキペダルに左足の甲を強打した。	26	80209	10~ 29
3	8~9	厨房内で温冷配膳車の位置を移動させようと操作中、操作を誤り強くレバーを握った為、その反動で自身のレバーを持っていた右手が左腹部を強打し、左第7第8肋骨を骨折した。	53	130201	50~ 99

3	20~21	台車でゴミ捨てに行き戻ったところ、立て掛けてあった台車に自身の台車がぶつかり転倒し、自身の押していた台車で左脇腹を打撲した。	67	80201	100 ~ 299
4	9~10	漬物売場で、ロング台車を片づける際に手がぬれていて、台車の取っ手を掴もうとして手が滑った。危ないと思い取っ手を握りしめたとき、台車の取っ手に肩があたった。	61	80209	100 ~ 299
4	2~3	店内の通路で一人でコロ車に載せた荷物を運搬中、インカム反応が必要になってコロ車を急に止めたとき、左足小指をコロ車にぶつけた。	40	80201	100 ~ 299
5	11~12	工事のためしゃがんで作業し、後方の鉄製の一輪車（碎石満載）に気付かず勢いよく立ち上がった時に一輪車の角に腰部を強打した。	40	30199	1~9
5	11~12	工場内の大豆蒸煮室で、煮豆を運搬用トロッコに掻き出す作業をしている時、作業に夢中になり後方のトロッコに気付かず、腰（尾てい骨）の辺りをぶつけ、打撲を負った。	42	10103	100 ~ 299
5	11~12	大豆蒸煮室で、煮豆を運搬用トロッコに掻き出す作業をしている時、作業に夢中になり後方のトロッコに気付かず、腰（尾てい骨）の辺りをぶつけ、打撲を負った。	42	170101	100 ~ 299
5	16~17	運営施設から事務所へ自転車で移動中、交差点にて自転車で跨った状態で信号待ちをしており、ペダルを踏み込んだ際に縁石に左足の甲を強く打った。	23	130201	50~ 99
5	20~21	バックヤード内にて、飲料水を積んだ荷物用カートを移動中、カートへ背中と首を接触した。痛みと違和感を感じたが、直ぐに治ると思いそのまま下番まで勤務を継続したが、帰宅後に痛みが強くなった。	75	170201	30~ 49
5	13~14	お昼休み工場内で仕事の準備をしている時、荷物を運ぶ台車に躓き、左脚膝と左手親指を負傷した。	64	10104	30~ 49
5	10~11	エントランスの清掃作業中に階段で足を踏み外し、転んで頭を打ち血を流して倒れていた。	68	140201	—

5	15～ 16	配送中、配達先で階段の先にエレベーターがあり、畳んでいた台車を 持って上がったところ台車が何かに引っ掛かり、台車の台の部分が左脇 腹にぶつかった。当初は痛いぐらいだったが、日を追うごとに悪化して いった。	58	40301	—
5	16～ 17	利用者宅から利用者宅へ向かう途中、上り下りを仕切る中央のポールに 接触し転倒した。	63	130201	1～9
5	18～ 19	ドライグループ長物加工にて、次の工程にてハイプラを付ける作業をし 易くするために、長物（資材）を横に90度片手で回転させて長物の角と 角を合わせる作業を行っていた。角を合わせるために長物を手前に両手 で引き寄せた際に、角と落下防止用のポールの間に右手中指を挟んだ。	39	11502	1000 ～ 9999
5	18～ 19	ドライ製造長物班において、台車に載せてあるサブフレームを作業台へ 移動させて落下防止パイプをセットした。そのあとサブフレームを作業 台へ均等に並べようとワークを動かした時、落下防止パイプとワークの 間で右手中指を挟んだ。	39	170101	100 ～ 299
5	20～ 21	弊社請負現場であるイベントの現場にて、従業員がパイプ椅子（高さ70 cm、幅50cm）を1人でカゴ付きの台車に積み込みをする際に他のスタッフ が上からパイプ椅子を積み込んだ為、左手小指を強打した。	35	170209	50～ 99
5	6～7	デリカ作業場の扉前で、入荷商品を6輪台車で運搬中に滑って膝から落 ち、左膝を骨折した。	54	80201	100 ～ 299
5	11～ 12	小学校1階の給食配膳室にて、給食コンテナをトラックより搬出中、コン テナの車輪が右足の親指の上に乗れ、強く親指を圧迫し、爪が剥がれ た。	51	160101	1～9
5	7～8	店舗内で、取っ手のない台車に商品の苺、葡萄、えのきを入れた箱を積 んで押しながら運んでいたところ、段差がある所で箱が崩れそうにな り、箱を直そうとした時に前のめりになって転倒し、右胸骨を強打し た。	48	80209	10～ 29

6	18～ 19	工場内にて作業中、切粉出しをしている時に、切粉を入れておく箱をどかすのに台車のストッパー付近を左足で蹴ったところ足首を捻った。	55	11209	10～ 29
6	15～ 16	店のバックヤードに積んであった台車に、右手首をぶつけて、筋を痛めてしまった。	50	90209	500 ～ 999
6	14～ 15	倉庫内で、畳んであるコンビテナー（折り畳み式のカゴ車）を引きながら移動している時に、本人の不注意により、バランスを崩したコンビテナーが左足にぶつかり、捻挫した。	67	170101	50～ 99
6	20～ 21	1階ベルトコンベア第一吐出口付近で、積載パレットを移動させ始めた際、他の吐出口（シュート口）を囲むパレットに右手甲をぶつけ、打撲した。患部が腫れて痛んだため通院後、休業に至る。	64	110101	1000 ～ 9999
6	11～ 12	仕上室に入室する時に、スイングドアの近くに置いてあった台車で、右足の裏の後部を強打した。	56	10104	50～ 99
6	3～4	就業場所にて、機械で仕分けられた荷物をかご台車へ仕分ける作業をしている時に、荷物をかご台車下段の奥に荷物を置こうとする途中で、かご台車中段の棚に頭をぶつけてしまい、ヘルメットをしていたが首を挫傷した。	55	170101	30～ 49
6	3～4	就業場所にて、パレットの下段に荷物を積載しようとした際、中棚に頭をぶつけ、首がむち打ちとなった。（ヘルメット着用）	55	110101	1000 ～ 9999
6	19～ 20	構内にて、重さ約800kg程のキャスター付クールボックス（縦110×横110×高さ210）をトラックに積み込んだ後、トラックの荷台において積荷を整理する為、既に積み込まれていたクールボックスの縁を押さえつけていた左手が、搬入したクールボックスとの間に挟まり、左手中指を骨折し、左手薬指骨を欠損した。	58	40301	10～ 29
6	15～ 16	倉庫内で商品を載せた台車（ロールボックス）を移動させていたところ、別の作業者が移動させていた台車（ロールボックス）とぶつかり、	20	80109	10～ 29

		左手の小指・薬指・中指・人差し指が挟まれて負傷した。			
6	16~ 17	店舗荷受け場において、夕方の物流便搬入の際、後方に下がった時に六輪台車で左足のくるぶしを打撲した。痛みと痺れが続いた。	56	80209	50~ 99
6	16~ 17	梱包作業場の中にある運搬用道路にて被災者が移動中、工場内物流運搬台車と両方向より鉢合わせとなり、被災者はこれを避ける為、道路右側に回避行動をとった際、支柱（鉄製のパイプ）に右手の小指側をぶつけた。	29	11403	300 ~ 499
6	14~ 15	訪問介護サービスのため、A利用者宅からB利用者宅へ電動アシスト付自転車で移動中、狭い道路で対向する自動車と離合後、自転車のペダルを強く踏んだため自転車が急発進し、バランスを崩し、ブロック塀に自転車ごと衝突し負傷した。	67	130201	30~ 49
7	8~9	ホームにて台車からトラックに荷物を2人で積み込む作業中に、荷物を持ち上げ前進した際に、足元の台車に右足を激しく接触させた。この時、足元は見えていない状態であった。	48	40301	100 ~ 299
7	11~12	指導のため支店臨店。支店の行員通用口から入った時、階段の段差に気がつかず転倒し、足首をひねった。	61	170101	10~ 29
7	10~11	納品作業をしているときに、入り口フェンスの鍵を開けようとしたが、暗くて見えないため、鍵を開けることが出来なかったため、腰高のフェンスを飛び越え敷地内の進入しようとしたが、着地に失敗し左足首負傷した。	52	130101	300 ~ 499
7	10~11	雨が降り始めたため、荷物を積んだカーゴを移動していたところ、周囲にいた協力会社社員が手伝おうとしてカーゴ車を動かした際に移動させたカーゴとサッシ窓枠の間に手を挟み右手甲を負傷したものである。	52	40301	100 ~ 299
7	8~9	冷凍庫内での商品搬送中、商品載せたカゴ台車を別の部屋に移動させる作業を後ろ向きに行ったため、入口扉の開いているスペースが足りない事に気がつかず、扉と台車の間に右手を挟まれた。捻挫と診断される。	33	50101	10~ 29

7	11~12	当社倉庫内作業フロアでピッキング作業中にピッキングカートにぶつかり右腕・右ひじがはれた。	46	50101	300 ~ 499
7	17~18	粉ミルク売場から倉庫へと作業カートを引いている際に、進行方向に現れたお客様との接触を避けるため、急停止。カートを右足踵付近に強打させ、傷めたもの。	26	80209	1~9
7	15~16	屋外危険物倉庫の室内にて作業中、別の作業を行うために慌てながら室外に出たところ、入り口付近に放置していたハンドリフトに気が付かず衝突した。ハンドリフトは所定の位置ではなく、ハンドル操作部も斜めに傾いた状態で放置されていた。衝突した際、ハンドリフトのハンドル操作部で右脇付近を打ち付けた。	69	10899	100 ~ 299
7	10~11	冷蔵庫内の空クレート整理中、土台パレットの奥にある空クレートを手前に引っばる際、土台パレットへ左足を乗せようとしたところ目測を誤り、左足が届かずバランスを崩しパレット角で左膝を強打した。	32	40302	100 ~ 299
7	8~9	作業場で振り返り歩き出そうとした際、勢いよく歩き出そうとしたところ、目前にあったカートの端に右手を打ち付け、人差指・中指を痛めた。	56	80201	500 ~ 999
7	10~11	スライドラック式の駐輪場の奥の清掃作業中、掃き掃除をしている最中に顔を上げたところ自転車のハンドルがあり、右目の眼球部分をぶつけ虹彩と角膜を損傷した。	72	150101	300 ~ 499
7	9~10	台車にて配達に向かう際、下り坂を下ろうとした所、台車に積んでいた荷物がバランスを崩し、荷物の落下を防ごうとした所、手が滑り離れてしまい、追いかけた所、車両に接触、その台車が自身の膝下部に接触した事故である。	26	40301	50~ 99
7	8~9	倉庫内で4輪カゴ車を運搬中、右足の小指を轆き、安全靴を履いていたが骨折した。カゴ車の重量は、積み荷と合わせて約100kgであった。	47	50101	30~ 49
	14~	業務中、廊下にて、急ぐあまり濡れた手で客室メイク用のワゴンを押そ			100

7	15	うとしたときに手が滑り、パイプに胸を強打した。	77	140101	～ 299
7	13～ 14	作業場所で、ピッキングの荷揃え作業で製品を運搬し、次の行動に移ろうとしたときに、パレットからハンドリフトが軽く抜けず、勢いよく引いたため反動が強く、抜けるときに足にハンドリフトが当たってしまった。	59	11502	500 ～ 999
7	17～ 18	倉庫内で荷卸しをしているとき、台車に右足を掛けようとした際に足を踏み外してしまい、右足を骨折した。	46	40301	100 ～ 299
7	22～ 23	定温仕分室において、コールドロールボックスを移動する作業をしていたとき、進行方向を修正しようとして右足を捻ったところ、コールドロールボックスに当たって負傷した。	23	40301	500 ～ 999
7	18～ 19	倉庫内において、発送貨物の仕分、ロールBOXへの積込み作業中に、車両へ搭載するためにロールBOXを移動していた際、ロールBOXの左側を押したときに力を入れ過ぎ、ロールBOXが遠心力により左側に移動した。ロールBOXを止めようと前方に回り込んだとき、ロールBOXのキャスター部と左足首が接触した。	22	50101	50～ 99
7	8～9	タクシー乗務中、自転車と接触事故を起こし、相手の自転車を会社の自家用車に積み込もうとしたときに、自転車のペダルが右足に当たり負傷した。	65	40201	100 ～ 299
7	7～8	店の搬入口から、入荷した商品が載った青果カゴ車を青果売場まで引いて運搬する際、カゴ車をうまく操作できずに通路側に接触した。このとき、カゴ車の両縁を持っていたため、左手を壁とカゴ車の間に挟んでしまい、左手甲を負傷（左手背挫創）した。	63	80209	100 ～ 299
9	14～ 15	製品の集塵作業を終えて別の持ち場に行こうと振り返りかけたところ、体がよろけて後ろにあった圧粉体台車の淵に左前腕が接触、裂傷し流血した。	43	11209	300 ～ 499

9	13～ 14	清掃作業中、ゴミカートの中にあるゴミを取ろうとして手を伸ばしたところ、お腹にカートのふちがあたり、体の左側を打った。	68	150101	500 ～ 999
9	11～ 12	休憩後に作業場へ戻る途中、曲がり角にあったカーゴに気付かず、カーゴ上部角に眉間を打ちつけ負傷したものである。	27	50101	30～ 49
9	17～ 18	調理した夕食を載せた配膳車を後ろ手で引っ張りながら移動中、廊下のカーブで勢いのついた配膳車が左足のアキレス腱付近に強くぶつかった。とっさに踏ん張ったら、左足指の方向に向けて強い痛みが走った、どうにか大丈夫かと思ったが、症状悪化のため、翌日、病院を受診したところ、左足のくるぶしと指の間あたりの骨が骨折していると言われた。	65	80209	10～ 29
9	16～ 17	バックルームでカット台車に洗剤を積む作業中、台車の車輪部分に左足をぶつけ小指を骨折した。	31	80201	300 ～ 499
9	13～ 14	積込先にてタイヤを積込作業中、踏み台から降りる時に足元にあったハンドリフトの上に乗ってしまい、足を踏み外し右足首を骨折した。	45	40301	50～ 99
9	1～2	構内作業場で荷物が載った台車を移動中に、前方に荷物が載った台車があり、その台車を避けようとする際、上手く台車の軌道修正が出来ず前方の台車（トッテ部）に接触し、左手小指を負傷した。	56	40301	50～ 99
9	18～ 19	帰社中、歩道を自転車にて走行の脇道から飛び出してきたロードバイクを避けた際、歩道上に植えてある街路樹に衝突した。	45	80209	10～ 29
10	8～9	工場でフォークリフトのバケットに入れていた製品を本人がまとめて結束していたところ、社長がフォークリフトのバケットを固定せずに移動した際、リフトのツメからバケットが台車に滑り落ち、その台車が動いて台車と機械の間に左足をはさまれ負傷した。	72	10401	1～9
10	14～	1階食品バックルームにて、センター便の豆腐をセンター台車から2段台車に移し替え、売場に移動していた。その際、台車に右ひざを強打す	62	80209	100 ～

	15	る。以前にも同じ負傷部位の労災があり、周囲の同僚は悪化したと思っていたようである。			299
10	13～ 14	介護施設にて業務中、左膝を痛めると共に、腰椎捻挫となった。ご利用者の送迎準備のため、施設入口に停めた車両に車椅子を積む際、誤って車両後部に左膝を強打した。また、強打による激痛のため、勢いよくうずくまった際に腰を強くひねり腰を痛めた。左膝挫傷並びに腰椎捻挫と診断された。	52	130201	10～ 29
10	18～ 19	工場出荷場において、パンの仕分作業中にデジタル表示機レールに出っぱりがあり（修復済）台車と接触し押していた作業員の左足が台車とぶつかり負傷したものである。	44	40302	100 ～ 299
11	16～ 17	当社機材置場でダンプから降りた時に右手に作業服、左手に伝票を持っていて両手がふさがった状態でバランスを崩して尻もちをつき腰椎を骨折した。	54	10109	30～ 49
11	18～ 19	訪問先から自転車で帰社し、事業所内駐輪場に止めようとして左足をついて降りた時、ハンドルがぐらついて慌てて右足を着地した際に、右足腓骨にヒビが入り、受傷した。	44	130201	30～ 49
11	14～ 15	営業所調理場にて、食器を平台車に乗せ移動している際に、後ろ向きに台車を引いていた為に、背後の手洗い場に気付かず台車と手洗い場の間に左手薬指付根を挟んでしまい、剥離骨折をしてしまった。	25	140209	10～ 29
11	13～ 14	納品場所にて納品作業中、商品の入っているカゴ台車をパワーゲートに載せ途中まで下げたところで、先に跳ね上げ扉を閉めてからゲートの上に飛び降りた際、カゴ台車上部の縁に顎が当たり負傷する。	32	40301	30～ 49
11	11～ 12	中学校内の受入室内部にて、カーゴの片付け作業中に躓いて前方に倒れ、持っていたカーゴごと床に手をついた。その際カーゴの柵部分が左手に当たり、負傷した。	43	10109	1～9
	11～	小包区分機4番シュートの付近で、運ばれてきたパレットの上段に積んであった荷物（花）を降ろそうとしていた。パレット下段に足を乗せて荷			100

11	12	物を掴み、乗せていた足を降ろそうとしたところ、足が絡まったようにふらつき倒れた。倒れた際、建物の柱保護のため床にある木材に腰を打ちつけ負傷した。	46	110101	～ 299
11	18～ 19	割引シール貼り作業後、バックヤードにシールを片付けに行き、振り返ったところに台車があり、それに躓いて、左足の甲を打ち、打撲した。	38	80209	10～ 29
11	16～ 17	要冷の2段階仕分けをしようとして重ねである小カーゴ車を広げながら、ふと他の事をしようと思い振り返ったところに、カーゴ車の底面の鉄板が恥骨に当たり骨折した。	54	170209	100 ～ 299
12	7・8	競走馬の調教施設内で牧草を降ろしていた所、バランスを崩し、台車に右胸をぶつけた。	67	70101	300 ～ 499
12	17・18	カートに荷物を載せ売場カウンターの外に出そうとした際、車輪がひっかかり、持ち手が予想外に動いた為、右手人差し指付け根を突き指した。	41	80201	100 ～ 299
12	16～17	サービス付き高齢者向け住宅で入居者の介護を行う際、入居者の居室入室時、フットレスト（足置き）が上がった状態の車椅子の脇を通る際にフットレスト（プラスチック）の端部に右下腿部（脛）が軽く当たったため、ズボンをめくりあげ確認したところ、すねの部分が15cmほど剥離し、皮がずれた状態で出血していた。	51	130201	30～ 49
12	1～2	1階荷捌き所で、到着したロールボックスの整理をしている際、協力会社の運転手がロールボックスをトラックから引き出し、該当者の方向に強く押し出した為、ロールボックスが背中に当たり、頸部、腰部を捻挫した。	40	40301	1000 ～ 9999
12	7・8	工場敷地内で、構内移動用自転車で移動中、自転車のチェーンが外れバランスを崩し、左側に転倒した際、地面（コンクリート）に左膝を強打した。	39	11701	30～ 49

12	11~12	青果の女子従業員が、台車に積んであった玉ねぎの箱（10kg）を取ろうとして手が滑り、右腰を横棒にぶつけた。	59	80201	100 ～ 299
12	15~16	派遣先工場にて、製品を運搬する台車を2人で2台直立に並んで運搬しているときに、後ろの台車の車間距離をつめた状態で曲がろうとし、スピードを落とした際に右踵部分に台車の1番下のフレームが接触し、右膝が自分で運搬していた台車の2段目のフレームに接触した。	61	170101	100 ～ 299
12	2~3	2Fクール作業場にて、クールBOXの差し替え作業を行う際、左側を気にしてセットしようとしたとき、右側のBOXが少し前に出ていたのに気づかず、右手が当たり、指を捻った。	44	40301	100 ～ 299
12	7~8	カゴ台車を使い荷下ろし中に、空のカゴ台車2台をトラックまで動かしていたとき、台車の車輪がアスファルトの凹みに引っ掛かり、そのまま台車と共に倒れてしまった。	52	40301	10～ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_08.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html)